

カリキュラム

機構施設名：和歌山職業能力開発促進センター

実施機関名：株式会社 東京ナレッジプラン

(D)データ活用	データベースソフト活用	データベースを活用したデータ処理(基本編)
----------	-------------	-----------------------

コースのねらい	業務の効率化を目指し、表計算ソフトでは対応できない大量のデータを処理するために必要となるデータベース技術を理解し、基本的なデータベースの構築方法を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)	
	1	データベースの概要	(1) データベースの概念 データベースとはどのようなものか、エクセルとの違いを確認しながら学びます。 (2) データベースの構造と機能 データベースを構築するオブジェクトの種類と関係、オブジェクトの組み合わせについて学びます。 (3) データベースの構築手順 データベースを構築するための手順を学びます。	1.5
	2	データベースの設計	(1) テーブルの設計技法 データベースの基となるテーブルを設計し、目的に応じたテーブルを作成します。 (2) データの分類 数値型・テキストなどデータの種類を学びます。 (3) テーブルの作成 実際にテーブルを作成し、データを入力します。 (4) フォームの作成 データを入力しやすくするためのフォームを作成し、新しいデータを入力します。	2.0
	3	抽出処理(クエリ)	(1) 選択クエリ 基本の選択クエリを、デザインビューで作成します。 (2) 抽出条件設定 単一条件での抽出、複数条件での抽出など、クエリでデータの抽出について学びます。エクセルのフィルターとの違いも確認します。 (3) レコードの並び替え クエリでデータを表示させる時の並び替えと優先順位を設定します。 (4) レポートの作成 クエリを基にしたレポートを作成し、印刷プレビューを確認します。	2.5
合計時間			6.0	

カリキュラム作成のポイント	データベースの基本を学び、テーブルを基にしたデータベースを構築します。表計算ソフトにはないクエリ機能を使うことにより、業務の効率化を目指します。
---------------	--

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
・PC(受講者用) OS:Windows10 or 11 アプリケーション:Microsoft Office 2019以降	・PC(講師用) OS:Windows10 or 11 アプリケーション:Microsoft Office 2019以降
●使用するテキスト	●その他
・自作テキスト	

利用事業主に用意をを求める機器等	備考
	使用設備: プロジェクター(HDMI端子およびUSB-Type A端子対応)、スクリーン、ホワイトボードホワイトボードマーカー(赤、青、黒)、マイク